

様式 8 の No. と同じ番号を記入

(様式 8 と 9 は整合性をとってください)。

申請者が大学で行っている

授業及び実習名を記入

(様式 9)

実務経験詳細報告書

1	No.	事業・授業名
障害者歯科授業(〇〇大学口腔保健学科 2 年生)		
担当者名	実施日	2015 年 6 月～7 月
申請者名	または期間	(4 コマ)
実施場所	対象・参加者	対象・参加人数
〇〇大学講義室	〇〇大学口腔保健学科 2 年生	30 名
事業・授業の概要		
障害児・者の現状について、それぞれの立場から(医療、福祉、保健)理 類や特徴を理解させる。また、障害者施設や特別支援学校における 障害児・者の生活環境等も理解したうえで、歯科診療の補助方法お よび口腔保健指導方法を理解させ、継続管理の重要性を理解させる ことを目的にビデオやパワーポイントを見せながら授業を行った。		
対象・参加者の様子・反応		
障害児・者に対する歯科診療の補助等の実際についてビデオを 用い説明すると関心を示していた。		
障害者歯科医療や療育への貢献度		
この授業を基に、臨地実習として障害者施設に実習に行く になっているため、学生の障害認知に繋がっていると考えている。		
本事業・授業の評価・反省・今後の検討事項		
この授業を基に、障害者施設臨地実習のための事前指導等を実施している。また、授業終了後内 容把握状況を確認するため、小テストを毎回実施したところ、80%以上の学生は障害の種類や口 腔内の特徴など把握していた。このことより、授業の目的 介助また、介助方方法や口腔保健指導方法の技法について 3 年次の顎口腔リハビリテーション演習において指導していく 予定であるが、どの程度まで学生に指導する必要があるのか 検討課題であると考えている。		
歯科衛生士指導医または指導歯科衛生士の意見および指導内容		
この授業をするにあたり、「学生の障害に対する考え方に偏りがあれ ばそれを修正する」また、「障害の種類を理解させる」という部分に 配慮して講義を実施できたと考えている。		
歯科衛生士指導医または指導歯科衛生士名(自書署名) 学会 陽子		

授業の目的、行動目標等を
考慮したうえで実際に実施した
授業内容を記入

授業中の学生の反応、様子を記入する

この授業が障害者歯科医療や療育等にどの
ように繋がっていく(貢献)と考えている
のかを記入

データに基づいた自己評価、目的達成のた
めの課題について記入

指導者からの指導内容を記入

* 番号(No.)は実務経験報告書一覧に記載された番号を記載してください。

* 実務経験報告書(様式 8)の中から異なった事業を 5 項目選択し詳細報告書を作成してください。

* 用紙はコピーしてご使用ください。

様式 8 の No. と同じ番号を記入
(様式 8 と 9 は整合性をとってくだ
さい)。

申請者が行政(職場)
で行っている講演及
び事業名を記入

(様式 9)

実務経験詳細報告書

No.	事業・授業名		
2	介護予防事業		
担当者名 申請者名	実施日 2015 年 11 月 22 日 または期間	歯科衛生士指導医名または 指導歯科衛生士名 ○本 ○子	
実施場所 ○○歯科医師会館	対象・参加者 訪問歯科衛生士	対象・参加人数 20 名	
事業・授業の概要 対象者に対し、介護事業の目的を理解したうえで、二次予防事業である通所型介護予防事業(栄養改善や運動器、口腔機能向上を図るための教室や閉じこもり予防について説明し、これらを支援するプログラム等について検討した。			
対象・参加者の様子・反応 支援プログラムに関する検討を行った際には、いろいろな意見が出て意見交換ができた。			
障害者歯科医療や療育への貢献度 介護予防事業における口腔機能向上プログラム等についての知識を高めることで高齢障害者にもプログラム等が適応する場合もあると考えられるため、貢献度は大であると考えている。			
本事業・授業の評価・反省・今後の検討事項 講習会終了後の実施したアンケートからは内容について 75%の人が理解できたと回答があったため、概ね今回の目的は達成できたと考えている。今後は、訪問歯科衛生士等による「閉じこもり予防、認知症予防うつ予防」「栄養改善」「口腔機能向上」のプログラム等について意見交換や地域調査を行い、各地域における介護予防プログラムの構築を行いたいと考えている。			
歯科衛生士指導医または指導歯科衛生士の意見および指導内容 介護予防、特に口腔機能向上の部分では歯科衛生士の担う役割は大きいと考えているため、介護予防事業知識の習得だけでなく、プログラム構築後の介入や評価も指導していく予定である。			
歯科衛生士指導医または指導歯科衛生士名(自書署名) _____ ○本 ○子			

講演及び事業の目的を考慮したうえで実際に実施した内容を記入

講演中の参加者の反応、様子を記入する

この講演内容や事業内容が障害者歯科医療や療育等にどのように繋がっていく(貢献)と考えているのかを記入

データに基づいた自己評価、目的達成のための課題や今後の課題について記入

講演や事業内容に対する指導者からの指導内容や意見を記入

* 番号(No.)は実務経験報告書一覧に記載された番号を記載してください。

* 実務経験報告書(様式 8)の中から異なった事業を 5 項目選択し詳細報告書を作成してください。

* 用紙はコピーしてご使用ください。